

Ic型超新星SN2023CPTの可視近赤外線観測

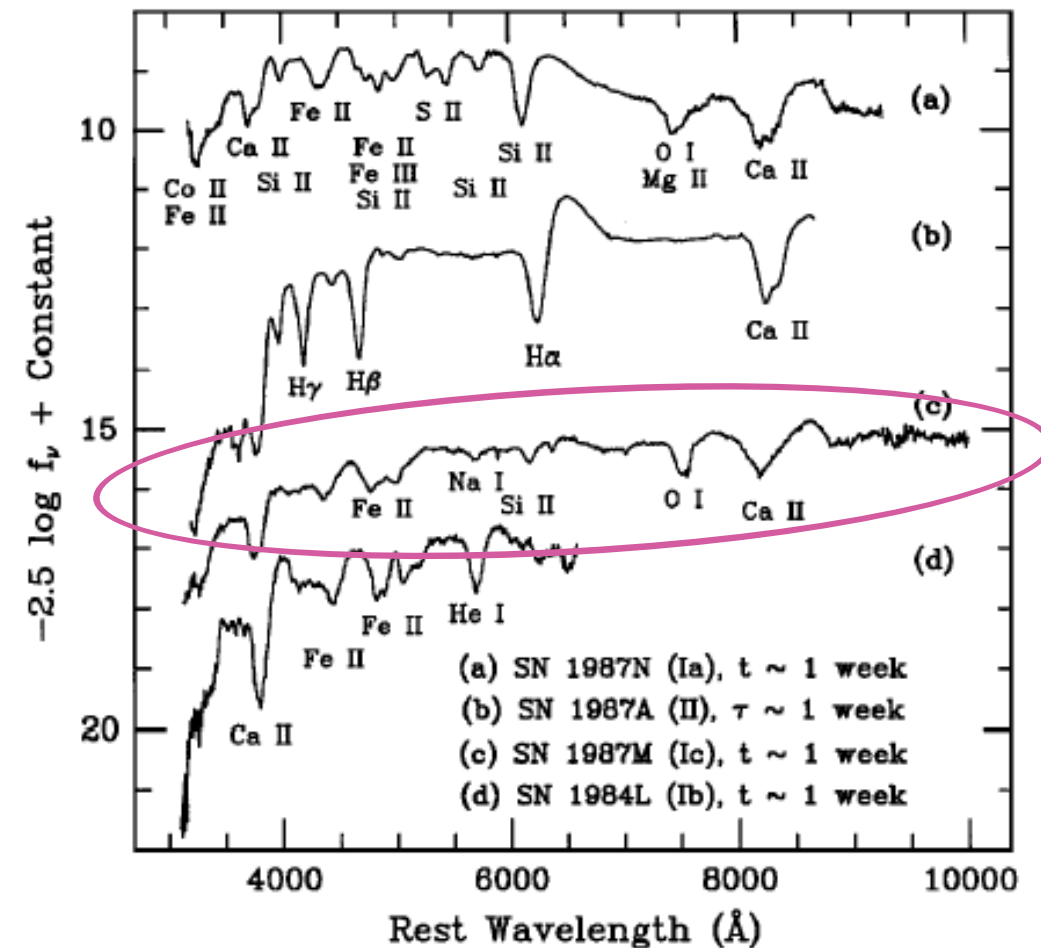
P09 広島大学 MI 熊野朱里

■ 研究背景

- 超新星爆発とは、初期質量が $8-10M_{\odot}$ 以上の質量を持つ恒星が一生の最後に起こす爆発現象
- 大質量星の進化過程は、いまだよく判っていないことも多い
- 超新星はスペクトルの特徴によって分類される

■ 研究目的

Ic型超新星の親星と超新星爆発の関係性について観測結果をもとに推定する



Ic型超新星SN2023CPTの可視近赤外線観測

P09 広島大学 MI 熊野朱里

- SN2023cpt について
 - 発見日: 2023/2/27
 - Host galaxy : NGC5915
 - 観測機器: HONIR (撮像), HOWPoI (撮像、分光)

	peak時のR-bandの絶対等級	減光率 (mag day ⁻¹)
SN2023cpt	-16.42	0.05
一般的なIc型超新星 (SN2007gr)	-17.29	0.06
明るいIc型超新星 (SN2004aw)	-18.35	0.03
減光の早いIc型超新星 (SN1994I)	-17.07	0.08

最も暗いIc型超新星の1つ

SN2023cptとIc型超新星の絶対等級のR-bandの比較

